

1月 月間情報

2021
1月

- : プラザ催しなど
- : ボランティア・市民活動団体催しなど
- ▲ : 市民活動センターで行われる上記団体催し
- : ぼらぶら 休業日

| 日 | 曜日 | 催し物 |
|----|----|------------------------|
| 1 | 金 | |
| 2 | 土 | 年始休み |
| 3 | 日 | |
| 4 | 月 | |
| 5 | 火 | |
| 6 | 水 | |
| 7 | 木 | |
| 8 | 金 | 高齢者ボランティアポイント説明会 ● |
| 9 | 土 | 育児ファミサポ ファミサポってなあに講座 ● |
| 10 | 日 | |
| 11 | 月 | |
| 12 | 火 | |
| 13 | 水 | |
| 14 | 木 | |
| 15 | 金 | 高齢者ボランティアポイント説明会 ● |
| 16 | 土 | パソコン定期相談 ▲ |
| 17 | 日 | きらきら書道 ▲ |
| 18 | 月 | |
| 19 | 火 | |
| 20 | 水 | |
| 21 | 木 | |
| 22 | 金 | 高齢者ボランティアポイント説明会 ● |
| 23 | 土 | きょうだいかい ふたつばクローバー ▲ |
| 24 | 日 | |
| 25 | 月 | BANBANしゃべろう会 ■ |
| 26 | 火 | |
| 27 | 水 | |
| 28 | 木 | |
| 29 | 金 | 高齢者ボランティアポイント説明会 ● |
| 30 | 土 | |
| 31 | 日 | |

高齢者ボランティアポイント事業 説明会

市内の施設でボランティアすることで、地域貢献や社会参加をしてみませんか？三木市内に住む65歳以上のみなさん、お待ちしております。

- 日 時：毎週金曜日 9:00～10:00
- 場 所：三木市立市民活動センター
- 申込先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

チームICT パソコンの定期相談会

チームICTは、市民活動センター施設サポーターとして登録しているサポーターです。パソコンで資料が作りたい。写真を取り込みたいなどご相談ください。

- 日 時：毎月第1・3土曜日 10:00～12:00
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090
- * 申込不要
- * 一緒に活動して下さる方を募集しています。

楽しくTea timeを過ごしませんか？ きょうだいかい ふたつばクローバー

障がいのあるきょうだいをおもちの方のきょうだい会。同じようでも一人ひとり思いがちがうから..皆それぞれの気持ちを話しましょう。

- 日 時：1月23日④ 17:00～18:30 奇数月第4土曜日(参加費:100円/人)
- 会 場：三木市立市民活動センター
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090

失語症者とその家族の会 BANBANしゃべろう会

BANBANしゃべろう会は、失語症の方とその家族が情報交換を行いながら交流し、気軽に集える場です。お気軽にお越しください。

- 日 時：1月25日④ 14:00～16:00
- 会 場：三木市立障害者総合支援センターはばたきの丘
- 参加費：100円
- 問合先：ボランティア活動プラザみき ☎ 83-0090



ボランティア・市民活動者のための活動応援情報

(発行)
三木市社会福祉協議会
ボランティア活動プラザみき
〒673-0403
三木市末広 1-6-46
(市民活動センター内)
TEL 0794-83-0090
Fax 0794-82-6666
e-Mail mvsc@miki.or.jp

1

Vol.278
2021.1.1

応募団体募集

《応募期間》
R3. 1/12(火)～3/31(水)

共感する活動を直接応援できる寄付のしくみ

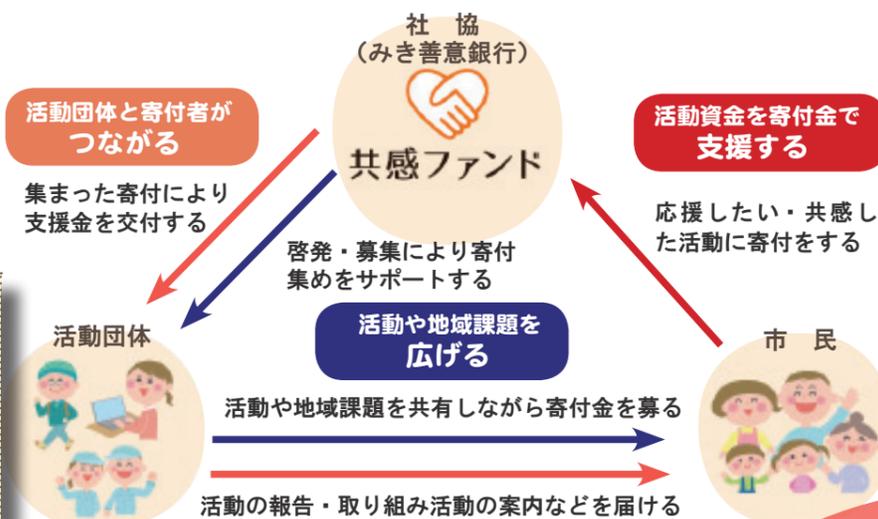
みきボランティア活動応援共感ファンド

取り組みたい活動を実施するための資金(寄付金)集めを応援します!

共感ファンドとは、寄付者が“共感”する活動を自ら選んで寄付することができる新しい寄付のしくみです。寄付を広く募ることで、活動資金を得るだけでなく、多くの方々と地域の課題を共有することをねらいとしています。一人ひとりの共感が地域に広がり、一人でも多くの方の地域福祉活動への参画につながることを期待しています。

「不足する活動資金を集めたい」「多くの共感者を募りたい」「共感ファンドの取り組みに賛同した」とお考えのボランティア・市民活動団体のみなさまのご応募をお待ちしています。

みきボランティア活動応援共感ファンドのしくみ



共感ファンドにより実現した「社会を変えるつながりアート展」では、障がいのある若者の力強い書の作品を展示。障がいの有無に関りなく、自分の個性を表現することが社会を変える始まりであるとの想いで開催したこの展覧会には、延べ1,000人の来場者があり、多くの人の気づきや意識を変えるきっかけになりました。



2018年度に応募された『きらきら書道』さんの声
◆応募するにあたり、自分たちの活動目的を再確認し、改めてメンバーと共有することができました。
◆寄付集めのノウハウを得ることもでき、昨年は自分たちだけで寄付金を募ることに挑戦し、20周年の作品集(記念誌)発刊を実現することができました。

過去の実績の詳細はホームページでご覧いただけます！

応募をお考えの団体のための
説明会を開催!
応募できる団体要件や対象とする事業などの共感ファンドの概要説明や、過去の実績を紹介します。
応募を検討されている団体の個別の相談にも応じますので、ぜひご参加ください。

【日時】① 1/23(土) 10:00～12:00
② 1/26(火) 13:30～15:30
③ 2/4(木) 10:00～12:00
※各回とも内容は同じです

【問合先】 ボランティア活動プラザみき ☎ 0794-83-0090

【会場】 三木市立市民活動センター

ふれあいサロンで地域防災を考える ～「お連れ避難」の実現に向けて～

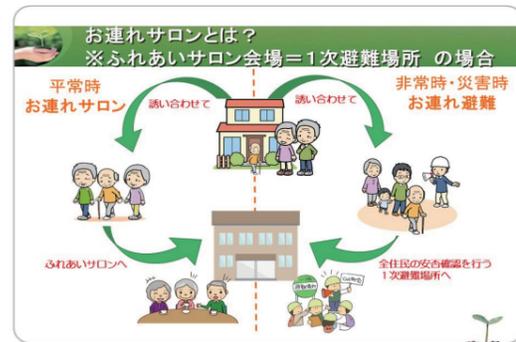
◆ 被災経験から考える これからの災害時避難とは？

26年前に起きた阪神淡路大震災。発災の日である1月17日は「防災とボランティアの日」とされています。その後も多くの自然災害を経験し、災害時のボランティア活動や自主防災活動、備えや構えが重要視されるとともに、被災経験を次へ生かすため、様々な調査結果が報告されています。中でも地域住民の避難行動については興味深いものがあります。国土交通省の調査では、平成30年7月豪雨で避難しなかった方に理由を尋ねると、「自宅にいるのが安全だから」「避難所へ行くのが危険だから」という回答に次いで多かったのが「近隣住民が避難していなかったから」でした。一方で、避難した方に理由を尋ねると、「避難勧告等が発令したから」「周囲の環境が変化したから」に次いで、「人から声をかけられたり、近隣住民が避難していたから」でした。一刻一刻と不安が募る中、周囲の人々と同じ行動をとることで、いづらか安心するという心理が表れているように思います。誰も避難せず皆で逃げ遅れるより、皆で早めに避難して事なきを得られて安心、という結果のようにも読み取れます。

ボラ・プラみぎの
アクション・レポート
(17)
～市民のチカラ～

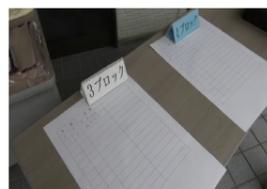
◆ 「お連れ避難」の実現に向けた ふれあいサロンの取り組み

昨年7月、自由が丘西地区で活動するふれあいネットワーク秋桜では、ふれあいサロンで「防災や避難について学ぶ時間」を設けました。一次避難所の場所や避難のタイミング、持ち出し品の確認のほか、「お連れ避難」について紹介がありました。「お連れ避難」とは、避難すべき時に近所で声をかけ合い、連れ立って避難をすることです。学びだけで終わらず、行動へ結び付けようという思いで開催されたのが、10月の「お連れサロン」です。普段のサロンに誘い合って参加してもらうことで、もし避難の必要性が生じた時にも同じことをすれば避難所へ行きやすいのではないか、との考えからでした。サロンの案内チラシに書かれた「お連れ」という文字を見て、普段はサロンに参加していないご主人を誘って来た方、お友達同士2～3人でやって来る方、サロンが開催されていることは知っていたけど初めて参加された方もおられました。ブロックごとに名前を記入する避難所仕様の受付にしたり、参加のお土産に給水バッグや緊急通報用のホイッスルを配って備えを促すなどの工夫もあり、有事の避難を意識することができました。また、「ペットを連れていけないから在宅避難したい」「隣の自治会の避難所に逃げる方が近い」など、それぞれの事情を知り合う機会にもなり、自主防災組織など地域としてどのように対応できるかという課題が明らかになりました。



◆ 個人の行動から 地域の活動へ

避難が必要になり、いざ「お連れ避難」といっても、そう簡単に出来るものではありません。平常時の住民同士のつながりがあることはもちろんですが、それだけでは現実には困難かもしれません。混乱の中でも焦らずに行動するためには、普段からその行動を確認し、反復して行うことが大切です。さらに、連携が必要な災害時の行動を地域の皆で話し合い、課題を見つけ、解決策を立てるという一連を繰り返すことが重要です。地域でのつながりづくりや交流、互いに気にかけてあう関係づくりを目的に定期的開催されるふれあいサロンは、住民の関心ごとや意識を高める機会にもなります。お連れサロンで「今日、サロンやけど一緒に行かへんか？」という参加者同士の声かけと、連れ立って参加する姿を、あちらこちらで見ることが出来る地域を目指し、災害にも強い地域づくりに取り組むふれあいサロン活動に、今後も注目です。



助成金情報

| 助成金等名称 〔申請等期日・期間〕 | 助成内容 | 問合せ・申込先 |
|---|--|--|
| 令和3年度 ひょうご環境保全創造活動支援助成金 〔令和3年1月12日※～2月5日※必着〕 | <p>(公財) ひょうご環境創造協会では、社会の構成員すべての参画と協働による環境適成型社会の形成を基調として、健全で恵み豊かな環境を保全し、ゆとりと潤いのある美しい環境を創造するため、その支援事業として「ひょうご環境保全創造活動助成」制度を設け、活動経費の一部を助成しています。</p> <p>〔助成区分と対象活動〕</p> <p>(1) スタートアップ支援助成<上限 20 万円> 県内で環境保全創造活動を行う団体を立ち上げようとする者又は団体を立ち上げてから2年未満の団体がその団体を維持運営活動及び実践的活動</p> <p>(2) 環境保全創造事業助成<上限 20 万円> 県内で概ね2年以上継続して環境保全創造活動を行っている団体の実践的活動</p> <p>(3) 環境パートナーシップ事業助成<上限 30 万円> 環境保全創造活動を行っている団体が、企業・大学・行政・NPO等と協働で実施する環境保全活動で、その協働による相乗効果を通して単独では実現困難な活動を効果的に達成しようとする活動。なお、助成を申請しようとする事業についてパートナー（企業・大学・行政・NPO等）と協働で申請する必要があります。</p> <p>(4) ひょうごの生物多様性保全プロジェクト助成<上限 20 万円> 兵庫県により選定されたひょうごの生物多様性保全プロジェクト事業を実施するための活動。</p> <p>〔助成の対象となる団体〕 助成金の交付対象となる団体は、次のすべての条件を満たす団体です。</p> <p>① 県内に活動の拠点を有すること ② 活動区域が主に県内であること ③ 会則をもち、団体の代表者が決まっていることなど、活動を適正に行える組織が確立していること</p> | <p>申請書類や詳しい内容(募集要領)については、ホームページをご覧ください。</p> <p>公益財団法人 ひょうご環境創造協会 環境創造部 〒654-0037 神戸市須磨区行平町 3-1-18 電話 078-735-4100 FAX 078-735-7222 月～金曜日の9:00～17:00 ホームページ https://www.eco-hyogo.jp/</p> <p>(公財) ひょうご環境創造協会 HP→環境学習/活動支援→ひょうご環境保全創造活動支援助成金</p> |

Vol.3 セルフヘルプグループって なぁに？ 「コラージュ」さんにききました！

コラージュは、障がい児をもつママ達が立ち上げたグループです。困りごとや悩みを話したり情報交換をする「家族会（ママの会）」をはじめ、障がい児のきょうだいの居場所づくりやメンバーの特技や人脈を生かしたママ達のリフレッシュできる時間づくりなど、さまざまな活動を行っています。

家族会は、メンバーが月に1度集まる定例会として開催されており、他のママ達にはできない深い内容もオープンに話すことができる場です。お子さんが学童期であるメンバー達の共通の話題は、学校生活における悩みや気になる出来事の数々…。時には笑いも交えながら、安心して話すことができる和やかな雰囲気が印象的です。

1月と2月の
家族会は
お休みです



【開催日時】毎月第1月曜日 9:00～12:00
【開催場所】ハートフルプラザみき3階
【問合せ先】コラージュ ☒ miki_collage@yahoo.co.jp

「セルフヘルプグループ」とは

病気、障がい、依存、嗜好など、悩みや生きづらさを持つ人や家族が、同じような状況の人・家族と出会い、支援しあうグループ

グループの立ち上げに関わったメンバー同士の出会いは10年以上も前のこと。当時は療育機関などでお互いに顔を合わせるも、子どもの対応に追われて時間にも心にも余裕がなく、ゆっくり話すことなどはあまりなかったそうです。子どもの成長に伴い少しずつ落ち着きを取り戻したのを機にグループを結成。同じ苦労や経験を重ねながら、お子さんのことはもちろん、家庭の事情や抱える大変さなどが分かり合えるほど深いつながりが育まれていることが覗えました。

当時の記憶がないほど、目まぐるしい日々を送っていたメンバー達。今は、当時の自分たちのようにどうしてよいか分からず悩み苦しんでいる人の支えになりたい！という強い想いで、新たな取り組みにも挑戦されています。これからのコラージュの活動展開にも注目です！

《告知》 特別企画「発達障がい体験会」開催！

日時：2月1日（月）10:30～12:30
会場：三木市立市民活動センター
託児：あり（1歳以上）・要申込

※問合せ・申込みは、左記のコラージュ問合せ先まで。詳しくは、Facebookで確認いただけます。（右のQRコードからアクセスできます）

